

ビジネスクラス情報 -デュアル実習で学ぶ生徒のコメント-

私は今、デュアル実習を行っています。前期は、販売業をしてみたいという思いがあり、大越のホームセンターで実習をしました。最初は不安で何も分からず、指示された仕事をするだけで精一杯でした。しかし、何度か実習をしていくうちに自分で仕事を見つけ作業をしたり、お客様に進んであいさつをするなど、できなかったことが次第にできるようになり、とても楽しく実習することができました。後期は、前期とは全く違う保育という仕事を選び、幼稚園で実習を行っています。



2年ビジネスクラス  
佐藤 加菜子さん  
(大越中出身)

以前はできなかったことが、次に実習に行ったときにできるようになっていく子どもの姿を見ると嬉しい気持ちでいっぱいになります。私はまだ「将来の夢」というものがはっきり決まっていまません。前期と後期に別々の職業を選んだ理由は、将来の夢を決めるようなきっかけを、さまざまな職業を通じて見つけたかったからです。今後は、デュアル実習を通して「将来の夢」を決めたいと思います。



船高便り

シリーズ  
「変わる船引高校」  
Vol.44

販売業とは違って小さな子どもを相手にするので、戸惑うことも多くありますが、担当のからアドバイスをいただいたり、子どもへの接し方などが

ジュニアインターンシップで貴重な体験

11月16日～18日にかけて、本校1年生29人がジュニアインターンシップを行いました。販売、保育、飲食業、美容関係など、多岐にわたる職種の体験をしました。初めは戸惑うことも多く、慣れない仕事に苦労することも多かったようですが、今回の体験を通じて、仕事のやりがいや楽しさを感じることができたようです。



熱心に取り組む生徒たち

「税に関する高校生の作文コンクール」入賞

大山さんが郡山税務署長賞受賞

「税に関する高校生の作文」の郡山税務署長賞表彰式が11月17日、本校で行われました。木幡四郎署長から、大山遥さん(1年・船引中出身)に賞状と記念品が手渡されました。同税務署管内には4校から

666点の応募があり、うち4編が署長賞に選ばれています。大山さんは「税について」と題した作品を出品、式に同席した青田誠校長からも祝福の言葉をかけられ、喜びを新たにしていました。



表彰を受ける大山さん(左)

民謡研究光堂会都路支部

代表 宗像良徳  
会員数 7人  
発足年 平成8年4月  
連絡先 75・3445

日本コロンビア専属歌手、佃光堂先生のご指導で月1回、都路公民館で練習しています。東北の民謡はもとより、日本各地の民謡を勉強しています。会員の年齢は10才から76才と幅が広いのですが、地元の方々に聴いてもらえるようにと全員で頑張っています。田村市文化祭、都路町春の文化発表会、灯まつり、芸能発表会などに参加しているほか、毎年、特別養護老人ホーム都路まどか荘への慰問を行っています。これからも、お互いに健康に気をつけながら、楽しく活動していきたいと思えます。



▲都路町春の文化祭での発表の様子

つくし会

代表 松本悦子  
会員数 14人  
発足年 昭和62年4月  
連絡先 79・2548

当会は、毎月第1水曜日を定例会として、午後1時30分から約2時間、大越公民館でパッチワークを行っています。パッチワークとは、さまざまな柄布、素材、色、大きさ、形の小さい布を縫い合わせて、1枚の大きな布を作る手芸のことです。会員が心をこめて作った大きな布やバック、小物などの作品を毎年秋の大越地区文化祭に出品し、多くの皆さんにご覧いただいています。これからも物作り出す喜びを大切に、会員相互の親睦と交流を図りながら会の活動を盛り上げたいと思います。



▲会員の皆さんの作品

※サークル紹介コーナーは今月号をもって掲載を終了します。長い間ご愛読ありがとうございました。

有料広告掲載欄